

「ロボット Sler 養成講座」 申込書

■E-MailまたはFAXで申し込む場合は、申込書に必要事項をご記入のうえ、次の申込先までお送りください。受付後、受講料のお支払いや受講方法などについてご連絡いたします。

【申込先】E-Mail:sier-info@sic-sagamihara.jp FAX:042-770-9077

■さがみはらロボット導入支援センターのWEBサイトからお申し込みできます。
次のURL (<https://www.sic-sagamihara.jp/robot/seminar/>) またはQRコードよりお申し込みください。



企業名	氏名(フリガナ)
役職	Sler 経験年数
所在地 〒	
TEL	E-Mail
URL	
得意とする業種・製品・生産工程など	
産業用ロボット特別教育(受講済・未受講) / 使用したことのあるロボットメーカー ()	
応募の動機	
今回の養成講座で学びたいこと・期待すること	

※個人情報の取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は、さがみはら産業創造センターの事業に関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
・個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。

ロボット Sler 養成講座

Sagamihara Robot System Integrator Training Program

募集要項 ★相模原市外の企業様も受講できます★

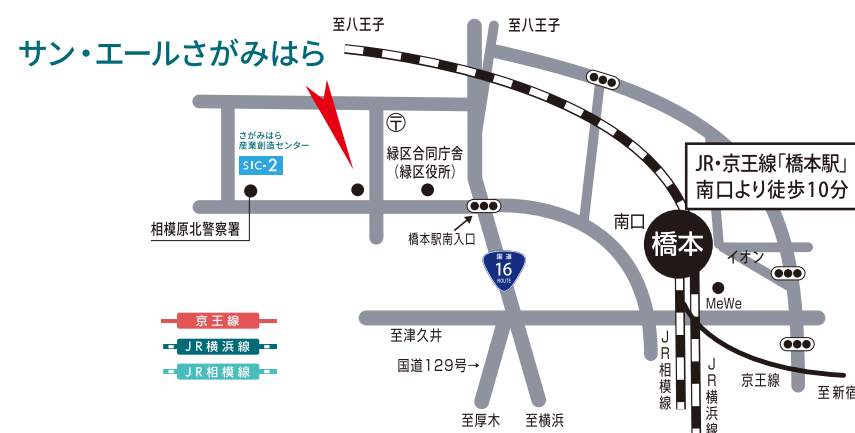
- 【期間】 令和3年10月18日(月)～12月17日(金) <全9回>
- 【会場】 サン・エールさがみはら(相模原市緑区西橋本5-4-20)および オンライン(Zoom)
- 【対象者】 ロボット Sler の若手・中堅エンジニア
ロボットや関連部材メーカーのエンジニア
ロボット関連商社の営業スタッフ
ものづくり企業(ユーザー企業)のエンジニア など
- 【受講料】 相模原市内事業者:132,000円(税込)/相模原市外事業者:165,000円(税込)
※開講日以降のキャンセル時は受講料の返金ができませんのであらかじめご了承ください。
- 【定員】 15名(先着順)
- 【申込方法】 WEBサイト、E-Mail、FAXよりお申し込みください。
URL:<https://www.sic-sagamihara.jp/robot/>
E-Mail:sier-info@sic-sagamihara.jp
FAX:042-770-9077
- 【備考】 ・本講座は、WEB会議ツール「Zoom」等を利用して配信いたします。ご視聴 URL は別途ご連絡いたします。
・通信機器(パソコン・タブレット・スマートフォン等)をご用意の上、ご視聴いただく環境がインターネット接続されているかを事前にご確認ください。
・対面を実施する前期については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施のうえ開催いたします。ただし、今後の情勢によって、全ての講義をオンライン開催とする可能性があります。詳細は、お申し込みいただいた方に別途ご連絡いたします。
- 【主催】 相模原市・株式会社さがみはら産業創造センター
- 【お問い合わせ】 さがみはらロボット導入支援センター(事務局:株式会社さがみはら産業創造センター)
担当:樽川、花摘、佐々木
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21
TEL:042-770-9119 / E-mail:sier-info@sic-sagamihara.jp

個別説明会のご案内 受講を検討されている方で、より具体的な内容や進め方を知りたい方には、個別説明会を開催しています。オンライン(Zoom)でも承りますので、ぜひお気軽にご連絡ください。

アクセス



サン・エールさがみはら
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-20



橋本駅より徒歩約10分

JR 横浜線、JR 相模線、京王線の3線が停車する橋本駅が最寄りです。将来リニア中央新幹線の停車駅にもなる期待の高まる駅です。

実践×ケーススタディで
構想力・提案力をUP!!

ロボット Sler 養成講座

第5期

Sagamihara Robot
System Integrator Training Program

カリキュラム

事前講義1	令和3年10月上旬	・付加価値に着目したシンプルな設備設計 ・ロボットSlerのための安全講座
前期	令和3年 10月18日(月) ↓ 10月19日(火)	・オリエンテーション ・オンライン時代の戦略的ヒアリング力と発信力 ・事前講義①Q&A ・現場実習・グループワーク
中期	令和3年 11月17日(水) ↓ 11月19日(金)	・Slerケーススタディ Part.1 -食品- ・Slerケーススタディ Part.2 -マテハン- ・グループワーク中間発表
事前講義2	令和3年11月下旬	・協働ロボット最新動向 ・AI・画像処理の活用講座
後期	令和3年 12月16日(木) ↓ 12月17日(金)	・事前講義②Q&A ・実習先企業へのリモートヒアリング ・グループワーク最終発表



<https://www.sic-sagamihara.jp/robot/>




さがみはらロボット
導入支援センター
Sagamihara ROBOT SUPPORT CENTER

ロボット Sler 養成講座とは？

これからのロボットSlerには、工場や生産工程全体を捉えたシステム構想力・提案力が欠かせません。また、リモートでの対応力や顧客へのプレゼンテーション力もますます重要になっています。第5期を迎える「ロボットSler養成講座」は、新たに『Slerケーススタディ』を加え、実践×ケーススタディを中心にカリキュラム編成された相模原市オリジナルの超実践型自動化人材育成プログラムです。


本講座のポイント

POINT 1 実践型グループワーク




実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材とした実践型グループワーク

POINT 2 ケーススタディ



自動化ニーズが高まる業種や生産工程の事例を活用したケーススタディ

POINT 3 技術講座

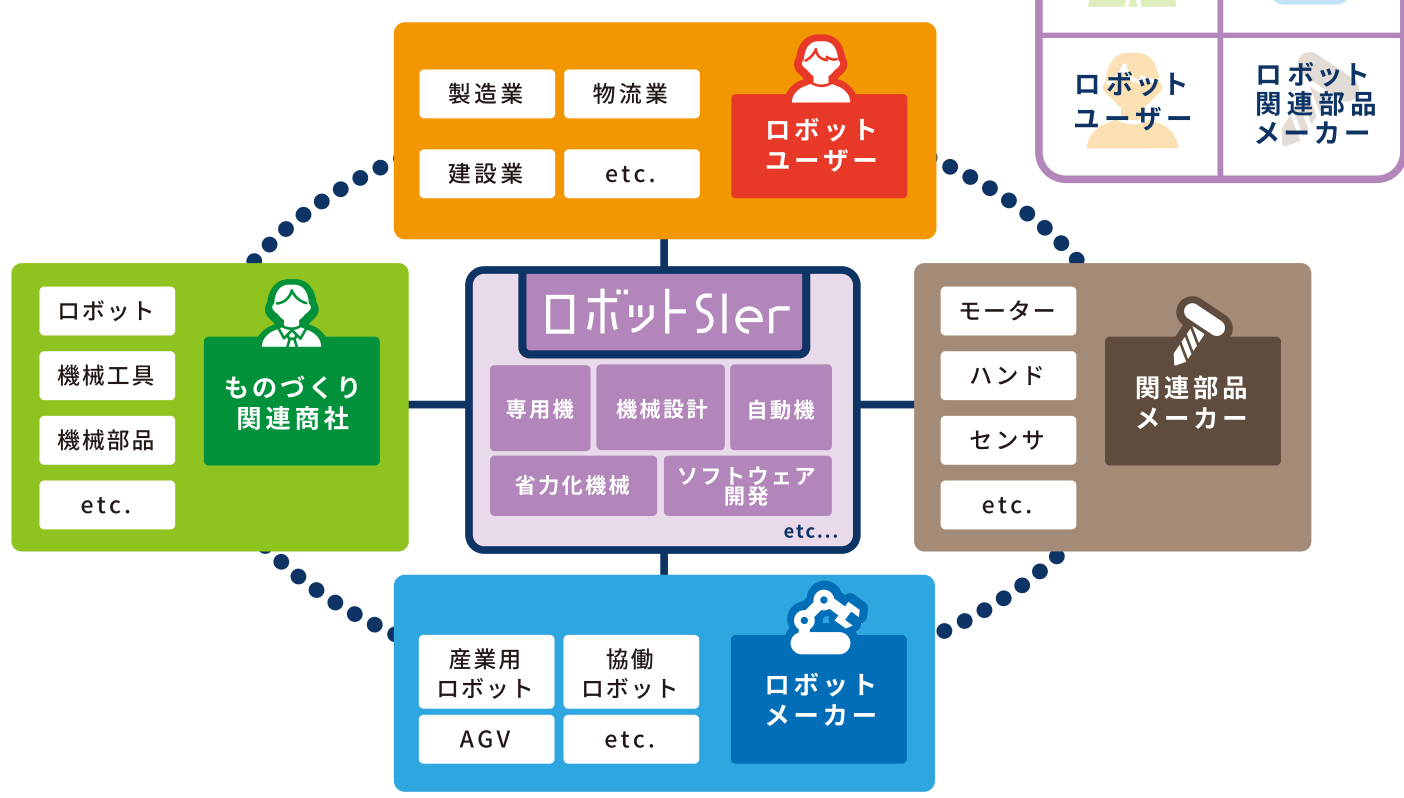


これからのSlerに必要な不可欠な知識・ノウハウを散りばめた技術講座

ロボットSlerとしての「構想力・提案力」や「専門性」をアップ!!

ロボットシステムに携わるすべての方へ

これまでの4年間で幅広い地域から70名以上が受講。ロボットSlerだけでなく、メーカーや商社などからも受講実績あり。自動化やロボットシステムに携わる幅広い皆様にご活用いただけます。受講生同士のネットワーク形成にもお役にください。









カリキュラム

事前講義 ①	REC 録画配信														
令和3年 10月上旬に 配信予定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏</td> <td style="padding: 2px;">付加価値を生む変化を抽出し、要素ごとに知恵を絞ることで必要最小限のメカニズムによる治具・設備を設計し自動化する改善の方法論について、事例や演習を交えて学びます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏</td> <td style="padding: 2px;">「ロボットと安全」「責任と法律」「安全とリスク」「ロボットの安全化技術」などについて、事例を交えながら、Slerに必要な知識を学びます。</td> </tr> </table>	青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏	付加価値を生む変化を抽出し、要素ごとに知恵を絞ることで必要最小限のメカニズムによる治具・設備を設計し自動化する改善の方法論について、事例や演習を交えて学びます。	日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏	「ロボットと安全」「責任と法律」「安全とリスク」「ロボットの安全化技術」などについて、事例を交えながら、Slerに必要な知識を学びます。										
青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏	付加価値を生む変化を抽出し、要素ごとに知恵を絞ることで必要最小限のメカニズムによる治具・設備を設計し自動化する改善の方法論について、事例や演習を交えて学びます。														
日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏	「ロボットと安全」「責任と法律」「安全とリスク」「ロボットの安全化技術」などについて、事例を交えながら、Slerに必要な知識を学びます。														
前期	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px; display: flex; align-items: center;"> リアル参加 LIVE オンライン </div> ※原則として、前期はリアル参加です。オンライン参加を希望される方は事前にご相談ください。														
10月18日(月) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">オリエンテーション</td> <td style="padding: 2px;">本講座の趣旨や進め方を理解するとともに、受講生による自己紹介プレゼンテーションを通して、受講生同士の相互理解を深めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">株式会社スタンコミュニケーションズ 代表取締役 松尾 由紀子 氏</td> <td style="padding: 2px;">オンラインでのコミュニケーションが当たり前になった今、Slerとして現場の課題やニーズを深掘りするヒアリング力はこれまで以上に必要となります。本講義により、報道記者の取材法を基にした戦略的ヒアリング力と、聞き取ったニーズを分かり易くロジカルに伝える具体的なスキルを習得し、仕事の効率や生産性を高めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">オンライン時代の戦略的ヒアリング力と発信力</td> <td style="padding: 2px;">現場実習に向けて、過去の受講生が取り組んだ発表事例や今年度の課題について説明を受け、チームごとに事前の準備・検討を行います。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">現場実習・グループワーク 事前説明</td> <td style="padding: 2px;">事前講義①で学んだシンプルな設備設計やロボットに関する安全知識について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏</td> <td style="padding: 2px;">【事前講義Q&A】 付加価値に着目したシンプルな設備設計</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏</td> <td style="padding: 2px;">【事前講義Q&A】 ロボットSlerのための安全講座</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">現場実習・グループワーク</td> <td style="padding: 2px;">実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材に、現場実習やグループワークを通して、Slerとしての構想力や提案力を磨きます。</td> </tr> </table>	オリエンテーション	本講座の趣旨や進め方を理解するとともに、受講生による自己紹介プレゼンテーションを通して、受講生同士の相互理解を深めます。	株式会社スタンコミュニケーションズ 代表取締役 松尾 由紀子 氏	オンラインでのコミュニケーションが当たり前になった今、Slerとして現場の課題やニーズを深掘りするヒアリング力はこれまで以上に必要となります。本講義により、報道記者の取材法を基にした戦略的ヒアリング力と、聞き取ったニーズを分かり易くロジカルに伝える具体的なスキルを習得し、仕事の効率や生産性を高めます。	オンライン時代の戦略的ヒアリング力と発信力	現場実習に向けて、過去の受講生が取り組んだ発表事例や今年度の課題について説明を受け、チームごとに事前の準備・検討を行います。	現場実習・グループワーク 事前説明	事前講義①で学んだシンプルな設備設計やロボットに関する安全知識について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。	青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏	【事前講義Q&A】 付加価値に着目したシンプルな設備設計	日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏	【事前講義Q&A】 ロボットSlerのための安全講座	現場実習・グループワーク	実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材に、現場実習やグループワークを通して、Slerとしての構想力や提案力を磨きます。
オリエンテーション	本講座の趣旨や進め方を理解するとともに、受講生による自己紹介プレゼンテーションを通して、受講生同士の相互理解を深めます。														
株式会社スタンコミュニケーションズ 代表取締役 松尾 由紀子 氏	オンラインでのコミュニケーションが当たり前になった今、Slerとして現場の課題やニーズを深掘りするヒアリング力はこれまで以上に必要となります。本講義により、報道記者の取材法を基にした戦略的ヒアリング力と、聞き取ったニーズを分かり易くロジカルに伝える具体的なスキルを習得し、仕事の効率や生産性を高めます。														
オンライン時代の戦略的ヒアリング力と発信力	現場実習に向けて、過去の受講生が取り組んだ発表事例や今年度の課題について説明を受け、チームごとに事前の準備・検討を行います。														
現場実習・グループワーク 事前説明	事前講義①で学んだシンプルな設備設計やロボットに関する安全知識について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。														
青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏	【事前講義Q&A】 付加価値に着目したシンプルな設備設計														
日本認証株式会社 SA事業部 教育事業部 部長 梶尾 昌洋 氏	【事前講義Q&A】 ロボットSlerのための安全講座														
現場実習・グループワーク	実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材に、現場実習やグループワークを通して、Slerとしての構想力や提案力を磨きます。														
10月19日(火) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">Slerケーススタディ Part.1 -食品-</td> <td style="padding: 2px;">JET株式会社</td> <td style="padding: 2px;">自動化ニーズの高い業界(食品)や工程(マテリアル・ハンドリング)に精通したSlerを講師に迎え、実際の事例を用いたケーススタディを行います。受講生間で行うワークショップを通して構想力を磨くとともに、業界特有の慣習や技術を理解することにより、Slerとしての専門性を高めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">Slerケーススタディ Part.2 -マテハン-</td> <td style="padding: 2px;">三明機工株式会社</td> <td style="padding: 2px;">現場実習などを通してグループごとに検討した自動化システムの中間発表を行い、審査員からの講評を参考に最終発表に向けたブラッシュアップに取り組みます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">グループワーク中間発表</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;"></td> </tr> </table>	Slerケーススタディ Part.1 -食品-	JET株式会社	自動化ニーズの高い業界(食品)や工程(マテリアル・ハンドリング)に精通したSlerを講師に迎え、実際の事例を用いたケーススタディを行います。受講生間で行うワークショップを通して構想力を磨くとともに、業界特有の慣習や技術を理解することにより、Slerとしての専門性を高めます。	Slerケーススタディ Part.2 -マテハン-	三明機工株式会社	現場実習などを通してグループごとに検討した自動化システムの中間発表を行い、審査員からの講評を参考に最終発表に向けたブラッシュアップに取り組みます。	グループワーク中間発表							
Slerケーススタディ Part.1 -食品-	JET株式会社	自動化ニーズの高い業界(食品)や工程(マテリアル・ハンドリング)に精通したSlerを講師に迎え、実際の事例を用いたケーススタディを行います。受講生間で行うワークショップを通して構想力を磨くとともに、業界特有の慣習や技術を理解することにより、Slerとしての専門性を高めます。													
Slerケーススタディ Part.2 -マテハン-	三明機工株式会社	現場実習などを通してグループごとに検討した自動化システムの中間発表を行い、審査員からの講評を参考に最終発表に向けたブラッシュアップに取り組みます。													
グループワーク中間発表															
中期	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px; display: flex; align-items: center;"> LIVE オンライン </div>														
11月17日(水) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">協働ロボット最新動向(約3時間) ～ロボットSlerが教える最適な協働ロボットの選び方～</td> <td style="padding: 2px;">IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏</td> <td style="padding: 2px;">中小企業でも協働ロボット導入の機運が一気に高まっていますが、使いこなせないといったケースも聞かれます。自社に最適な協働ロボット導入のためにどのように進めれば良いか?複数メーカーの協働ロボットを扱うロボットSlerの立場から、押さえておくべき協働ロボット導入のポイントや最適な選び方について学びます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">AI・画像処理の活用講座(約3時間)</td> <td style="padding: 2px;">日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏</td> <td style="padding: 2px;">製造業におけるAI・画像処理の有用性をテーマに、なぜ今AIが目目されているのかなど、製造業におけるAIを活用する意味について、具体例を交えて学びます。</td> </tr> </table>	協働ロボット最新動向(約3時間) ～ロボットSlerが教える最適な協働ロボットの選び方～	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	中小企業でも協働ロボット導入の機運が一気に高まっていますが、使いこなせないといったケースも聞かれます。自社に最適な協働ロボット導入のためにどのように進めれば良いか?複数メーカーの協働ロボットを扱うロボットSlerの立場から、押さえておくべき協働ロボット導入のポイントや最適な選び方について学びます。	AI・画像処理の活用講座(約3時間)	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	製造業におけるAI・画像処理の有用性をテーマに、なぜ今AIが目目されているのかなど、製造業におけるAIを活用する意味について、具体例を交えて学びます。								
協働ロボット最新動向(約3時間) ～ロボットSlerが教える最適な協働ロボットの選び方～	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	中小企業でも協働ロボット導入の機運が一気に高まっていますが、使いこなせないといったケースも聞かれます。自社に最適な協働ロボット導入のためにどのように進めれば良いか?複数メーカーの協働ロボットを扱うロボットSlerの立場から、押さえておくべき協働ロボット導入のポイントや最適な選び方について学びます。													
AI・画像処理の活用講座(約3時間)	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	製造業におけるAI・画像処理の有用性をテーマに、なぜ今AIが目目されているのかなど、製造業におけるAIを活用する意味について、具体例を交えて学びます。													
11月18日(木) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">事前講義Q&A 協働ロボット最新動向</td> <td style="padding: 2px;">IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏</td> <td style="padding: 2px;">事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座</td> <td style="padding: 2px;">日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏</td> <td style="padding: 2px;">オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。</td> </tr> </table>	事前講義Q&A 協働ロボット最新動向	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。	事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。								
事前講義Q&A 協働ロボット最新動向	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。													
事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。													
11月19日(金) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">グループワーク最終発表</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。</td> </tr> </table>	グループワーク最終発表	本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。												
グループワーク最終発表	本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。														
後期	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px; display: flex; align-items: center;"> LIVE オンライン </div>														
12月16日(木) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">事前講義Q&A 協働ロボット最新動向</td> <td style="padding: 2px;">IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏</td> <td style="padding: 2px;">事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座</td> <td style="padding: 2px;">日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏</td> <td style="padding: 2px;">オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。</td> </tr> </table>	事前講義Q&A 協働ロボット最新動向	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。	事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。								
事前講義Q&A 協働ロボット最新動向	IDECファクトリーソリューションズ株式会社 取締役 鈴木正敏 氏	事前講義②で学んだ協働ロボットや画像処理・AI活用について、オンラインによる各講師への質疑応答を通してさらに理解を深めます。													
事前講義Q&A AI・画像処理の活用講座	日本サポートシステム株式会社 画処ラボ 所長 加藤 俊介 氏	オンラインによる実習先企業への追加ヒアリングを通して、最終発表に向けた提案内容のブラッシュアップを行うとともに、リモートでの顧客対応力を磨きます。													
12月17日(金) 10:00-17:00	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;">グループワーク最終発表</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。</td> </tr> </table>	グループワーク最終発表	本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。												
グループワーク最終発表	本講座の集大成として、現場実習やケーススタディなどの各講義で学んだことを活かし、顧客満足度のさらなる向上を意識した最終発表を行います。														

講師

 <p>青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授</p> <p>松本 俊之 氏</p> <p>慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在は青山学院大学理工学部経営システム工学科教授。博士(工学)。専門はIE (Industrial Engineering)であり、「見る、視る、観る、やってみる」を基本姿勢として、現場改善技術と教育システムの開発の研究にあたった。</p>	 <p>日本認証株式会社 SA事業部教育事業部 部長</p> <p>梶尾 昌洋 氏</p> <p>長岡技術科学大学機械システム創造専攻修士卒業。在学時より機械安全に取り組み、学内ベンチャーも立ち上げた。その後、外資系コンポーネントメーカーの営業を経て、日本認証に入社。機械安全に関する講習会講師を担当し、国内外で年間50回以上の講習会を実施。また、コンサルタントとして、製造現場で個別課題の解決にも取り組んでいる。</p>
 <p>株式会社スタンコミュニケーションズ 代表取締役</p> <p>松尾 由紀子 氏</p> <p>スピーチコーチ。国内外テレビ局での取材記者アナウンサーとしての経験から、ロジカルコミュニケーション、プレゼンテーションを専門に企業研修を実施している。会社経営者や管理職向けに、オンラインでの言語化力やヒアリング力向上研修を実施し、「相手の時間を奪わない」コミュニケーションの実現に貢献している。</p>	 <p>JET株式会社</p> <p>超精密機械加工、高精度ハイテク産業機器(製造設備、ロボット等)の開発・設計・製造、省力化自動機、多軸ロボットを組み合わせたロボットシステムの設計開発業務を展開する相模原市内の提案型システムインテグレータ。豊富な経験と「得意分野技術」の磨き上げて、地域内外の顧客ニーズに対応している。</p>
 <p>sanmei 三明機工株式会社</p> <p>三明機工 株式会社</p> <p>「機械技術 × 電気技術 × ロボット技術」を駆使した総合システム力を生かし、ジャンルやシーンに捉われない顧客ごとのニーズを叶える完全オーダーメイドな自動化ロボットシステムを提案している。また、デジタルツイン技術を駆使し、最新の技術と長年培った技術を融合して、機能・コストにおいて最適なシステムの提供も行っている。</p>	 <p>IDECファクトリーソリューションズ 株式会社 取締役 セールスマーケティング本部 本部長</p> <p>鈴木 正敏 氏</p> <p>2016年4月より現職。事業責任者として、ロボットシステムインテグレーション事業の立ち上げを推進。Sler協会では、技術分科会所属の幹事企業として、Slerスキル標準WG、Sler基礎講座WG等の推進に関わり、安全講習のカリキュラム作成を担当。協働ロボットに特化したシステムインテグレータとして、各種セミナーでの講演も行っている。</p>
 <p>日本サポートシステム株式会社 情報戦略部・相模原事業所 兼 画像処理検証施設「画処ラボ」所長</p> <p>加藤 俊介 氏</p> <p>大学卒業後、1 社目の企業では銀行系システムのシステムプログラマーとして従事。2 社目から外観検査・自動設備に関連する装置事業を複数社に立ち上げ。現在は、システムの開発・プロジェクトマネージメント、営業、AI エンジニアと様々な分野での経験を活かし、自動化設備の構想から設計まで幅広い柔軟な提案により、数多くの装置納入実績を持ち顧客からの信頼を得ている。</p>	

受講者の声

 <p>業種: Sler 役職: 経営者 年齢: 40代</p>	<p>中小企業は設計者でもユーザーと話をする機会が多くコミュニケーションは重要なので勉強になった。社員教育としても良いと感じた。</p>	 <p>業種: Sler 役職: エンジニア 年齢: 30代</p>	<p>オンライン中心のカリキュラムだったので、遠方からでも受講しやすかった。普段接点のない地域・業種・職種を受講生と交流できたことで非常に参考になった。</p>
 <p>業種: 制御設計 役職: エンジニア 年齢: 40代</p>	<p>通常ある程度仕様の決まったものをこなす業務が中心なので、上流工程での仕様定義の部分に関わられたことは非常に参考になった。</p>	 <p>業種: メーカー 役職: エンジニア 年齢: 40代</p>	<p>オンライン講義の経験がなく不安だったが問題なく受講できた。特にオンデマンド配信は、あとから繰り返し視聴できたので、聞き逃しをすることもなかった。</p>
 <p>業種: 商社 役職: 技術営業 年齢: 30代</p>	<p>他社、異業種のメンバーと意見交換することで、視野の広がりが知識の獲得といった成長に繋がった。また、プロジェクトを作り進めていくという経験ができ、非常に良い活動だったと感じる。</p>	 <p>業種: Sler 役職: エンジニア 年齢: 30代</p>	<p>グループ発表に対し、審査員の方から厳しいご指導やご助言をいただくことができ、勉強になった。課題が非常に頭を動かす良い訓練となった。</p>